

2023年4月よりさつき福祉会が
指定管理者として運営することとなりました

生きる力を 豊かに たくましく

- ・ 医療的ケアに特化した事業所となりました。
- ・ 医療的ケア者の短期入所利用を始めます。
- ・ 生活介護事業、開所日増を始めます。
- ・ 看護師、リハビリ職の専門職の地域派遣を行います。

施設見学のご希望の方は下記までご連絡ください

吹田市立障害者支援交流センター

あいほうが吹田

- ・ **生活介護事業**
- ・ **短期入所事業**
- ・ **地域開放事業**



TEL:06(6816)6895 FAX:06(6816)6898

〒565-0826 大阪府吹田市千里万博公園 12番27号

生活介護事業(定員60名)

「生きる力を豊かにたくましく」をスローガンに、吹田市の障がい者福祉の拠点となる地域に開かれた社会資源として、地域との交流の中で障がい理解を深めていく運営を行います。医療的ケアのある重度障がい者の様々な日中活動を保障するため、看護師・リハビリ・栄養士が一人ひとりの健康状況・機能を把握し、必要に応じ嘱託医と連携し、心身のサポートを行っています。利用者一人ひとりの主人公性が発揮できるよう、発達と自立、生活の質の向上と生きがいづくり、社会参加を図ってきます。



研修室兼多目的ホールで「ボッチャ」を楽しんでいます。

職員体制 (生活介護・短期入所事業)

施設長	1名	副施設長	1名
主任	3名	事務主任	1名
		事務	3名
福祉スタッフ			
生活介護	28名		
短期入所	5名	+ 夜勤アルバイト	
医療スタッフ			
看護師	5名	理学療法士	1名
作業療法士	1名	言語聴覚士	1名
発達相談員	(1名)		
嘱託医	3名		
整形外科医	(1名)	小児神経内科医	(1名)
精神科医	(1名)		
調理スタッフ			
栄養士	1名	調理員	1名+ (6名)
専門スタッフ			
運転手	(5名)	※()は非常勤、委託	

一日のスケジュール

8:45	送迎車 出発
9:45頃	送迎車両到着
10:15	入浴スタート
10:30	各班で 午前のプログラム
12:00	昼食
13:15	入浴スタート
13:30	午後のプログラム
15:30	送迎車乗り込み
15:45	送迎車 出発

1年間の主なプログラム

4月	新年度の集い
5月	利用者自治会総会
8月	平和のとりのくみ
9月	あいほうぶ祭
10月	施設旅行(3年スパンで)
12月	文化祭
2月	ボーリング大会



3年スパンで全ての利用者を対象に施設1泊旅行を行なっています。



地域の方々をお招きして、毎年9月に「あいほうぶ祭」を開催しています。100名近くのボランティアさんが関わっていただきました。

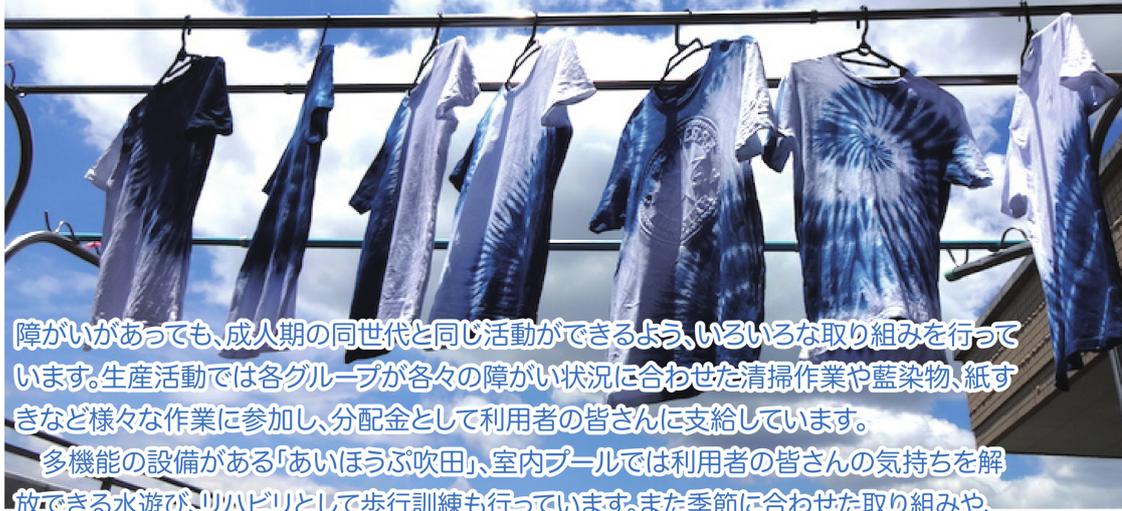


季節行事に積極的に取り組み、年の初めには、書初めなど楽しめます。

支援内容



地域の自治会納涼祭りに利用者みんなで作った「おもちゃ釣り」を出店しています。大好評です。



障がいがあっても、成人期の同世代と同じ活動ができるよう、いろいろな取り組みを行っています。生産活動では各グループが各々の障がい状況に合わせた清掃作業や藍染物、紙すきなど様々な作業に参加し、分配金として利用者の皆さんに支給しています。

多機能の設備がある「あいほうぶ吹田」、室内プールでは利用者の皆さんの気持ちを解放できる水遊び、リハビリとして歩行訓練も行っています。また季節に合わせた取り組みや、所外活動にも出かけます。3年スパンで利用者の全員が1泊旅行に出かけています。特に医療的ケアのある重度の利用者も安心安全な旅行を行うため、夜間の状況の把握に努めています。利用者の会である「星の会」や利用者生産部では、様々な取り組みを行う機会を通じて施設での主人公性を発揮できるように支援しています。

入浴支援では、自宅での入浴が困難な利用者の方を優先して支援しています。身体の障がいのある方も安心して入浴できるよう、機械浴槽も備えています。人権擁護の視点で同性介助で対応しています。



2月の節分に向けて、紙すきで「鬼のおめん」作りを行っています。皆さん 一つ、いかがですか？毎年たくさん売れています。



水の中では、浮遊力を活かして、リラックス。



多目的ホールで本格的なクラシックコンサートもみんなで聞くことができます。綺麗な音色にうっとり。



リハビリ支援

利用者の様々な障がい状況に合わせたリハビリテーションを提供しています。利用者のQOLはもちろんの事、社会参加を目的にしたリハビリテーションの提供を心掛けています。

- (1)生活介護事業におけるリハビリテーションとして
姿勢管理や生活動作・嚥下機能の把握などを行います。
- (2)家庭やグループホームなどの生活場面でのリハビリテーション支援を行います。
- (3)地域に向けてリハビリテーションとして
地域の方々の相談にも応じます。
- (4)福祉分野でのリハビリテーション専門職種としてのスキルの向上を図ります。(病院等で行う機能訓練を中心としたリハビリテーションにとどまらない福祉のニーズにあったリハビリテーションの提供)



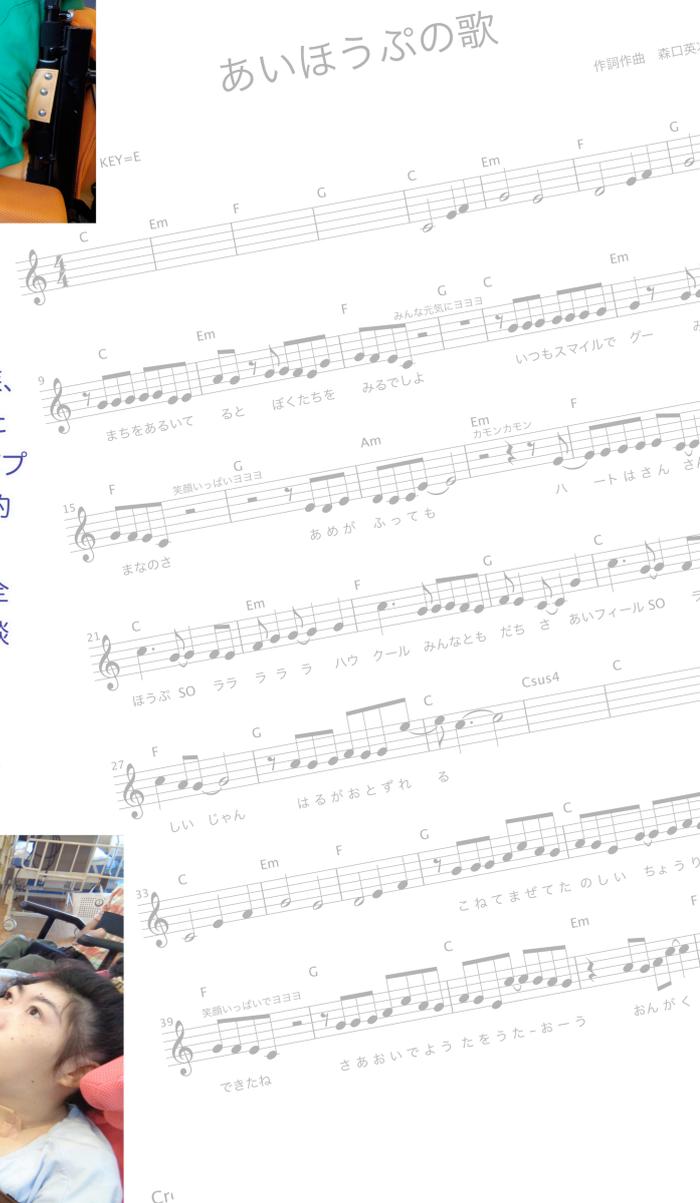
看護師支援

重度の障がいがあり、様々な医療的ケアが必要であったとしても、ご家族、主治医、医療機関と連携して安全を確保し、いろいろな体験をして頂きたいと日々支援しています。福祉職やリハビリ職と連携して安全を確保してプールや、身体の手組み、入浴、所外活動、旅行等の実施をする為、医療的な面をしっかりサポートしてきます。

2023年度より、医療的ケアの必要な重度の方の短期入所を始めます。全ての方が利用する事は難しいかもしれませんが利用ご希望の方はご相談ください。

嘱託医(神経内科・整形外科・精神科の医師)

各1回/月 来所して利用者の健康を守るための相談して頂いています。看護師としては心強い支援です。



給食



「おいしく食べて生きる力に」をスローガンとして「食べたい」思いに寄り添った食の支援を大切にしています。

利用者一人ひとりの障がい状況や機能・体調・健康状態に合わせた食事提供を行っています。また日々の献立に旬の食材を使用して季節を感じられる食事。年中行事にあわせた行事食や全国味めぐりの旅など食文化に触れる機会。

利用者のリクエストメニューやデザートバイキングなど楽しみや生きがいを感じられるよう様々な工夫を取り入れていきます。



ごはんは酵素粥・全粥・五分粥・やわらかごはん・ごはんの5段階で提供しています。

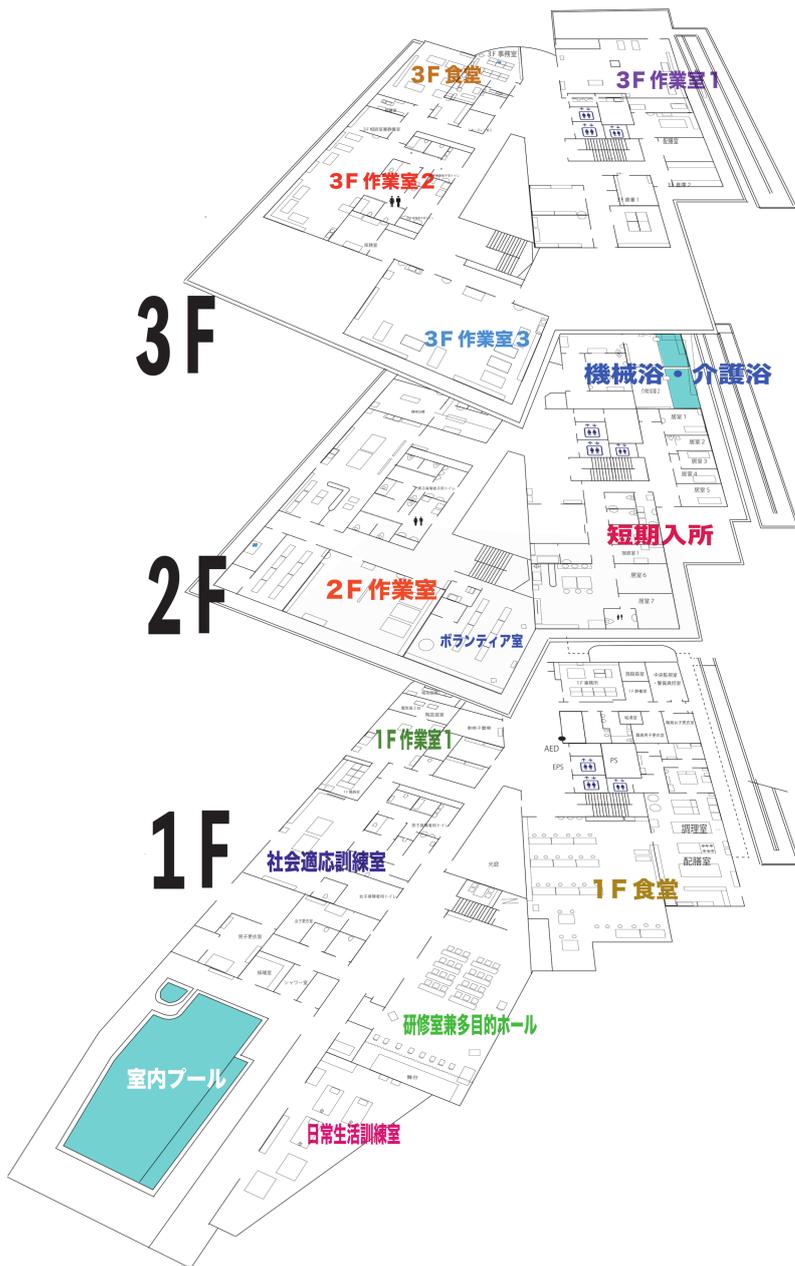
おかずは介護食と普通食に分かれそれぞれ4段階で提供しています。介護食（ペースト食・ゼリー食・なめらか食・やわらか食）普通食（ふつう食・一口大食・スライス・粗刻み）アレルギー除去食や加齢や疾病による個別配慮など障がい状況に合わせて細やかに対応しています。

注入食や味わいなど経管栄養の方への食を通したケアを行います。食事には、いろいろなチカラがあります。健康との結びつきはもちろんですが、食卓を囲み団欒するようなコミュニケーション。身体の栄養や心の栄養になります。



給食部の企画で全国味めぐりなど利用者のみなさんが楽しめる企画を考えています。味めぐりでは、その土地の食材や大切に受け継がれてきた食文化に触れる機会となっています。

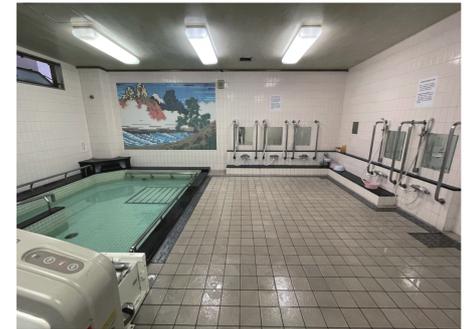
設備



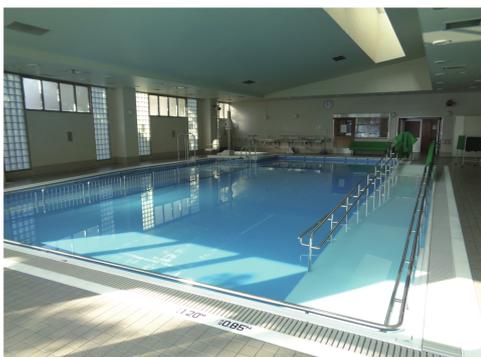
喫茶コーナー
平日のお昼に、ボランティアの皆さんのご協力により、オープンしています。豆を挽いて利用者の皆さんに美味しいコーヒーを提供しています。(冷たいコーヒ・紅茶もあります)



浴室
機械浴槽を2基設置しており、身体障がいのある方や気管切開されている方も安心して湯船につかることができます。リフターも常設しています。また、介護浴室も2室あり、十分な広さがありスロープを使って、シャワーチェアでそのまま湯船に入ることができます。



短期入所
定員7名。和室が2室・洋室が5室あります。2ヶ月前より予約を受け付けています。



室内プール
15mの温水プールを常設しています。冬でも快適に利用できます。スロープも設置されており、車椅子の方も入水でき、リフトや採暖室も設置されています。リハビリ訓練としても活用しています。



研修室兼多目的ホール
音響・照明が設備されています。床にはパラリンピック種目「ボッチャ」の公式なコートが書かれています。コンサートや会議の活用もできます。



食堂
温冷配膳車を活用して、温かい食事は温かく、冷たい食事は冷たく適温給食で提供しています。1Fと3Fに食堂が2箇所あり、大きな食堂でゆったりと食事を楽しめます。

ショートステイ事業/短期入所事業(7床)

◎緊急時の利用について

障がいのある方の地域での生活が円満に営まれるよう、普段介護にあたっておられるご家族の方が何らかの事情で介護できない場合、一時的に介護を行うものです。緊急時の対応を最優先に、障がいのある方とその家族を支えています。

◎レスパイト利用について

緊急以外でも、普段介護にあたっておられるご家族の方が介護を離れ、ほっと一息ついて日ごろの疲れを回復させるための在宅支援サービスのひとつです。また障がいのある方が家族から離れて、自立した生活体験を広げていく宿泊訓練の場としても利用できます。

◎利用の対象となるのは

18歳以上の身障手帳または療育手帳をお持ちの方であれば利用できます。

◎利用申し込みは

「あいほうぶ吹田」にて受け付けています。新規利用の際は、事前に健康診断、アセスメント等の記載、面談が必要です。

詳しくは施設にお問い合わせください。通常は、2カ月前の月初め平日の3日間10時～17時00分でお受けしています。緊急時は随時対応させていただいています。

◎利用者の送迎

通所されている日中事業所からの送迎をお願いします。但し必要に応じ施設から送迎することも可能な場合がありますので、ご相談ください。

◎医療的ケア者については、医療機関と連携し医師の指示書に基づき、看護師配置の必要性を把握した上で安全に短期入所が利用できるように準備していきます。

問い合わせ

06-6816-6897

施設開故事業

◎プール・介助浴室（使用する当日に直接お申込み下さい）

(1) 使用できる人

市内在住の「障がい者」とその介護者。

(2) 使用できる日と時間

土曜日・日曜日……午前10時～午後4時

ただし、12月29日から翌年の1月3日までの日を除きます。

◎会議室など（使用する前日までにお申込み下さい）

(1) 使用できる部屋

階	室名	広さ(m ²)	使用内容	机・椅子等	備考
1	作業室1	84	陶芸など	作業台	陶芸窯あり
1	日常生活訓練室	101	調理実習など	調理台3台・椅子10	
1	研修室兼多目的ホール	148	研修会・映画会・展示会など	テーブル20・椅子120	
1	食堂1	153	昼食会や会議など	テーブル9・椅子36	調理は日常生活訓練室
2	会議室1	36	会議・講習会など	テーブル8・椅子16	

(2) 使用できる団体（団体登録が必要）

- ・市内の障がい者福祉団体
- ・市内の社会奉仕活動を行う福祉団体

(3) 使用できる日と時間

土曜日・日曜日…午前9時～午後10時

(午前・午後・夜間に分けます)

その他の日……午後6時～午後10時(夜間のみ)



生きる力を豊かにたくましくをスローガンに、

問い合わせ

06-6816-6895

めざすもの

- ①障がい者の人権を守り、発達を願って、働くことを大切にしながら、一人ひとりの豊かな人生を支援する実践を追求します。
- ②障がい者の生きがいを支援するために、全スタッフが連携して取り組みます。
- ③施設を活用し、地域での活動、地域の人たちとの関わりを大切にしていきます。
- ④施設を取り巻く全ての人が、集団の規律を守り、楽しく過ごせる活動を追求するために民主的な運営を進めます。
- ⑤人権と発達が保障された、誰もが住みやすい街づくりを進めます。

新たな事業として

・障がい児・者の水泳教室

月1回 障がい児・者のQOL・ADL向上を目指した水泳教室を行います。 1クルー(4ヶ月)
定員3名

・当事業所利用者の喀痰吸引等特定行為実地研修

地域の事業所よりご希望があれば、あいほうぶ吹田の利用者の喀痰吸引や経管栄養の必要なサービスを在宅で行う福祉職員に認定特定行為の実地研修を随時行います。

・実習の受け入れ

地域の大学や専門学校等の様々な学科の学生の実習を受け入れ、医療・福祉分野の人材育成に寄与していきます。

・専門職の相談支援、演習、講師としての派遣

利用者の健康面や嚥下状態等、地域の事業所でのお困りの事について、また職員地の研修等に看護師及びリハビリ職を講師として派遣できますので、ご相談ください。



阪急千里線山田駅・大阪モノレール山田駅から、徒歩10～15分。山田駅西側出口より、北方向(北千里方向)に300メートル、万博公園西交差点を阪急電車にそってさらに北へ100メートル、北消防署交差点東側の右すぐにあいほうぶ吹田があります。



障がい者の明るい未来をめざして

さつき福祉会